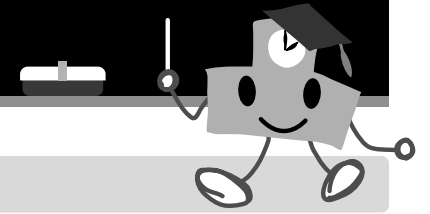


小学校の事例 豊平区 美園小学校

地域の中にある福祉施設との交流。 リングプル回収等をおして学ぶこと。

できることから始めよう！
リングプルやアルミ缶回収をおして障がいのある人への理解を深め、
環境意識の向上と人や物を大切にすることを育む。



内容 福祉施設のリサイクル活動に協力

本校では、地域の福祉施設で、2つのリサイクル活動に取り組んでいる。
ひとつは、リングプルやペットボトルの回収活動である。本校では6年前から総合的な学習の時間の中で福祉について学ぶ際に、学校の近くにある肢体・視力・聴力に障がいのある人たちが働く障がい者福祉施設を訪問していた。その交流の中から4年ほど前、施設の方からリングプルやペットボトルキャップを集めていることを聞き、本校でも協力して回収を始めた。
もう一つはアルミ缶回収で、2年ほど前の総合的な学習の時間で「障がいのある人たちに協力する団体」を訪問して活動を知り、協力するようになったものである。

学校の玄関前にアルミ缶を回収する為のボックスを団体が設置しており、本校ではそのボックスがいっぱいになったら連絡をして取りに来てもらっている。
本校ではこういった活動をきっかけにして、総合的な学習の時間の中で地域への理解を深める取組を行っている。3年生は地域の商店街について学び、4年生は障がい者福祉施設との交流、5～6年生は3～4年生時に学んだことをもとに、ユニバーサルデザインについて学習している。大きな目的として掲げているのは、地域との交流を進めていく上で「安全で安心な誰もが住みやすい環境を整えていくこと」である。それには一人一人の中に「人や物を大切にすることを育むことからはじめることが大切だ」と考えている。

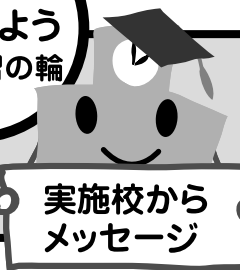
効果 障がいのある人への理解と環境問題への意識を深める

施設との交流の際には、障がいのある人に配慮することを学んでおり、これにより児童は人をいたわる心を育てている。「施設での活動に協力したい」という思いから、ペットボトルキャップ・リングプルの回収にも積極的に取り組んでいる。
本校ではこれらの取組をおして、他人をいたわる心を大事にしながら、環境問題やリサイクルへの関心、日常的にできることに取組む意識を育てている。



施設との交流の様子

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



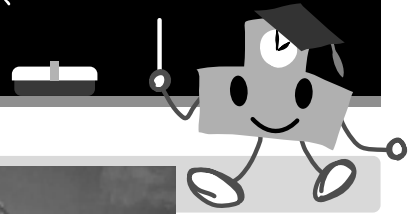
実施校から
メッセージ

自分たちでできることから始めるとよいと思います。福祉施設の人たちが、本校の音楽の授業を見学するために一生懸命歩いて来てくれます。子供たちは「来てくれてありがとう」の気持ちをこめて演奏をします。他者との関わりあいの中で子供たちに自然と「相手のことを思いやる気持ち」が芽生えているようです。その気持ちが、地球や身のまわりの環境を守る心がけへとつながればよいと考えています。

小学校の事例 白石区 上白石小学校

玄関前に車いす型の回収ボックス。 地域との連携で、善意の架け橋が広がる。

車いすを模した回収ボックスを設置し、
リングプル回収を行う活動をおして、
資源を無駄にせず、活用させるリサイクルを学び、
自ら行動し社会に呼びかける経験に。



内容 車いす型の回収ボックスで常時回収

本校では、車いすを模した回収ボックスを児童玄関に設置し、リングプルを集めている。ボックスには、みんなの善意が虹のように広がることへの願いを込めて、「虹の架け橋」と書かれている。この回収ボックスには、家庭からリングプルをもってきた児童がいつでも入れることが可能だ。ボックスがいっぱいになったところで回収業者に連絡し、計量と回収をお願いしている。



車いすをイメージした回収BOX

効果 地域に見守られる中で 自発性を培う

「自分たちの行動が車いすプレゼントに結びつく」という意識付けができており、自ら行動して社会に呼びかける経験になっている。また、資源を無駄にせず活用させることを実際に体験することでリサイクルの意識が根付き、しっかり学べる、という面でも効果があると考えている。



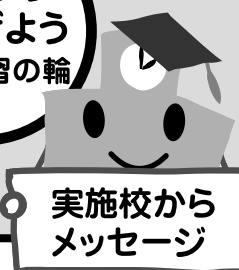
明るいデザインの回収BOX



廃品利用の回収BOX

リングプル回収は古くから取り組んでいる活動であるため、地域の方が学校にもち込むことも多い。地域に守られ、連携をとれる学校として位置付けられているという意味でも、効果的な活動となっている。

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



実施校から
メッセージ

子供たちにとって、行動の結果が返ってくること、今、自分たちのしていることが何にどうつながるのかが目に見えてわかりやすいことが大切です。中学生には自発的に発展させ実践する力がついてきますが、小学生の場合は「環境教育」を優先するよりも、教科(特に社会科)から発展させる方法をとると取り組みやすいかもしれません。